

平成 23 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社
 代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二
 (J A S D A Q ・ コード 6159)
 問合せ先
 役職・氏名 管理部次長 遠藤 正明
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

平成 23 年 11 月期第 2 四半期累計期間業績予想値との差異に関するお知らせ

平成23年4月13日に公表いたしました平成23年11月期（平成22年12月1日～平成23年11月30日）第2四半期累計期間業績予想について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 連結 平成23年11月期 第2四半期累計期間 連結業績予想と実績の差異

(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり四半 期純利益
前回予想 (A)	2,000	85	124	123	54円61銭
今回修正 (B)	1,682	190	179	182	80円12銭
増減額 (B - A)	△317	105	54	58	25円51銭
増減率	△15.9%	123.2%	43.7%	46.8%	46.7%
[ご参考] 前期第2四半期実績 <small>(平成22年11月期第2四半期)</small>	663	△152	△30	△26	△11円62銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としておりますが、高精度化・高能率化製品を求める顧客の検収条件の一部が未達成のため、売上が第3四半期以降に繰越となる案件が見込まれること等から、前回予想を3億17百万円下回る16億82百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、生産効率の向上、販売費及び一般管理費の削減等により、前回予想を1億5百万円上回る1億90百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、平成23年6月30日に開示しましたとおり、為替変動による外貨建資産等による為替差損（営業外費用）68百万円の計上があるものの、前述の営業利益の増加等により、前回予想を54百万円上回る1億79百万円となる見込みであります。

なお、この為替差損は、外貨建資産等による為替差損と、デリバティブ債券の期末時価評価による投資有価証券評価損を合算しております。

また、四半期純利益につきましては、前述の経常利益の増加等により、前回予想を58百万円上回る1億82百万円の計上となる見込みであります。

3. 個別 平成23年11月期第2四半期累計期間 前期実績との差異

(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり四半 期純利益
前期第2四半期実績 (平成22年5月期)(A)	631	△123	2	6	2円70銭
今期予想(B)	1,608	189	174	173	76円50銭
増減額(B-A)	977	313	172	167	73円80銭
増減率	154.7%	—	—	—	—

(差異の理由)

売上高につきましては、新興国市場をはじめとした輸出の持直し等により、受注の回復傾向が見られたことから、前期実績を9億77百万円上回り、16億8百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、前期実績を3億13百万円上回り、1億89百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、前期実績を1億72百万円上回り、1億74百万円となる見込みであります。

四半期純利益につきましては、前期実績を1億67百万円上回り1億73百万円となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上